令和６年度第１回（第13期第２回）

八尾市環境審議会

令和６年７月31日

資　料　1

**八尾市環境審議会温暖化対策部会報告**

**第１回　令和６年６月27日（木）**

|  |
| --- |
| 審議事項 |
| １．地球温暖化対策実行計画の進捗把握 |
| ２．地球温暖化対策実行計画に即した環境総合計画の改定ポイント及び改定内容（案） |

**（委員・オブザーバーからのご意見）**

**１．地球温暖化対策実行計画の進捗把握**

事務局にて「第３次八尾市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の進捗管理表」に基づき説明

**①部門別取組指標について**

・運輸部門における充電設備の設置個所・基数（累積）のところ、令和５年度実績から基数ではなく口数に変わっている。一方で目標値の単位が『基』のままとなっている。例えば1基に対し、平均の口数を算出して、現状の目標値から平均値を掛けた数値で新たな目標値を設定するのはどうか。単位が異なるので合わせる必要がある。

・家庭部門におけるうちエコ診断の実施件数について、実績は順調に進んでいるが、目標値がかなり大きい数値を設定されている。この目標値を達成するためにどうするべきか考える必要があるのではないか。

・廃棄物部門における資源化されている量を除くごみ処理量について、ごみ処理量を抑えるための具体的な施策はとられているのか。設定した目標に向かった方向ではあるものの、コロナも落ち着いてきて生活様式が変わっていくなかで、ごみ処理はライフスタイルと密接にかかわっており、ごみ処理量をどのように抑えていくのか考えていく必要があるのではないか。経年でデータ取得していると思うが、効果を見ていく上で修正が必要なのか、現状のまま進めていくのか、分析をしながら進めるべきである。

**②取組について**

家庭部門における新築・既築における省エネ住宅の戸数のところで省エネ住宅は温室効果ガスの削減効果が大きい。ZEBやZEHについては各住宅メーカー等が推し進めていると思うが、八尾市では補助等を行っているのか。行っていれば、補助件数がわかるのではないか。ZEHやZEBは認証制度があったと思う。そういうものに対して補助をしていくのは、二酸化炭素の削減効果が大きいのではないか。

**２．****地球温暖化対策実行計画に即した環境総合計画の改定ポイント及び改定内容（案）**

事務局にて「八尾市環境総合計画に関する改定の方向性と主な改定内容（案）」及び「八尾市環境総合計画改定概要（案）」に基づき説明

**①削減目標について**

・市域の温室効果ガスの排出実績を見て、どのあたりのものが削減可能であると考えているか。部門ごとに　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　施策を出していき、そのうえで効果を把握することが重要である。

・経年の動きやデータを拝見したところ、現状では2030年度で50％削減は到達するのは難しいと考える。毎年見ていくと増減はみられるが、現実的に技術的な政策を入れるのは時間がかかるため、市民の意識とライフスタイルの転換が現実的であると考える。それらを踏まえてどのように考え、進めていくのか。

この課題は日本だけでなく世界的な問題であるが、八尾市としてどう取り組むかが重要である。分析の中で、政策の効果を把握する必要がある。2030年まで６年しかない。限られた期間の中で、モニタリング、効果の分析を入れながら進めていくべきである。

**②熱中症対策について**

まちなか避暑地、クーリングシェルターはこれから暑くなってくるため、公共施設をはじめ、ショッピングセンターもクールスポットとして登録されているのか。把握しているのか。あるショッピングセンターでは、施設内でウォーキングをするといった取り組み事例があったと思う。そのような取り組みが八尾市でも実施できれば面白いのではないか。

**③脱炭素型の生活・事業活動の推進について**

・実際に再エネ省エネ設備を導入した事業者等のケースを紹介するのは効果があると思う。様々なツールを活用して周知するのは良いことである。八尾市は協議会も持っている。様々な団体が会員に登録されていると思う。この協議会を通じて情報提供も進めていると思うので、引き続き進めていただきたい。

 ・市民感覚として、内容が難しく感じる。うちエコ診断の活用については、変化を見るために年１回ではなく、複数回行ってもいいのではないか。主婦や市民は口コミに敏感であると思うので、取組み数を増やしてもらいたい。また環境にも経済的にも効果がある取り組みは実感が湧きやすい。複数回実施すればリピートして参加される方もおり、経過がわかる。地球温暖化防止活動推進員を八尾市にももっと活用していただきたい。

 ・地球温暖化防止活動推進員は貴重であり、取り組みを進めていくことは重要である。環境に関心のない方も多くおられると思う。イベントを増やすことも一つの案としてあるが、主催イベントを増やすことも一つの案としてあるが、温暖化以外の環境イベントや、他のイベント等に参加していくことも良いのではないか。八尾市では生き物に関して取り組んでいる団体も多いと思う。そこで啓発を進めてもらえれば、温暖化に関心がなくとも生物多様性の観点から興味を持ってもらえるのではないか。